

講義名	食品学各論
開講学年	1 年
単位	2

授業の達成目標	各食品の種類と分類について理解する。
授業の概要	各食品の栄養成分、構成成分、機能、利用方法などの特徴について理解する。
授業形式	日本食品標準成分表に基づき、食品の分類より各食品に着目し、どのような成分、特性や機能を有するか食品に関する全般的な知識を学ぶ。

授業計画

回	項目	内容	キーワード・備考
1	食品に関する基本事項、穀類①	食品の分類 植物性食品の特徴 コメの特徴・成分	搗精、アミロース、 アミロペクチン、リ シン
2	穀類②	コムギ、トウモロコ シ、その他穀類の特 徴・成分	グルテニン、グリア ジン、ツェイン
3	豆類、いも類	豆類の種類・特徴・ 成分・加工品 いも類の種類・特 徴・成分・加工品	レシチン、イソフラ ボン、ソラニン、ガ ラクタン、グルコマ ンナン
4	野菜類①	野菜類の種類・分 類・特徴・成分	青葉アルコール、 シュウ酸、ホモゲン チジン酸
5	野菜類②	野菜類の特徴・成 分・加工品	ショウガオール、ナ スニン、アントシア ニン、リコペン
6	種実類、果実類	種実類の種類・特 徴・成分・加工品 果実類の種類・特 徴・成分・加工品	セサミン、クロロゲ ン酸、石細胞、プロ メライン
7	きのこ類、藻類	きのこ類の種類・特 徴・成分 藻類の種類・特徴・	エルゴステロール、 グアニル酸、アガ ロース、カラギーナ

		成分	ン
8	魚介類	魚介類の構造・種類・特徴・鮮度・成分・加工品	血合肉、EPA、DHA、アスタキサンチン
9	食肉類①	食肉類の構造・種類・特徴・肉質・成分	ミオグロビン、ブルーミング、硬直・解硬
10	食肉類②、卵類	食肉類の種類・特徴・成分・加工品 卵類の種類・特徴・構造・成分	カルニチン、オボアルブミン、アビシン、レシチン
11	乳類	乳類の種類・特徴・成分・品質・加工品	カゼイン、ホエータンぱく質
12	油脂類、甘味料	油脂類の種類・特徴・成分・加工品 甘味料の種類・特徴・成分	エルカ酸、硬化油、アスパルテーム
13	調味料、香辛料	調味料の種類・特徴・成分 香辛料の種類・特徴・成分	カビ、酵母、菌
14	嗜好飲料	嗜好飲料の種類・特徴・成分	テアニン、単発酵酒、単行発酵酒
15	食品表示	食品表示について	特定保健用食品

事前・事後学習の内容	本科目の他、関連する教科の予習・復習（練習問題）を行う。
成績評価の方法	期末試験（90%）、食品判別試験（10%）にて判定をおこなう。
参考書	評価基準は合計90点以上：S、85～89点：A+、80～84点：A、75～79点：B+、70～74点：B、65～69点：C+、60～64点：C、60点以下：Dとし、Dは不合格とする。
教材	ただし、出席が2／3未満の場合は評価をせず不合格とする。